

管理所レビュー VOL.05

(H29.6.7 水源林管理所)

5月31日(水)に実施されました第5回のボランティア活動日は、午後に大気の状態が不安定となり、雷雨の恐れもあるとの予報でしたが、雨が降ることもなく、予定どおりに間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

間伐作業は、大変な危険を伴う作業です。「慣れ」による注意力の低下も危険を招きますので、今一度、一つ一つ安全を確認した作業をお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 66名のご参加、ありがとうございます！



山梨百名山「鳥ノ胸山」。



しっかり体をストレッチ。



本日もよろしくをお願いします。

2 作業の様子とワンポイントアドバイス。



上空の枝の状況を確認。



伐倒方向はこっちに決定。



下切りもみんなで確認。



おみごと！目標どおり！



必要ならば切り直しを。



枝の上を上手く通せました。



安全対策も確実に!?



もう少し！力を合わせて！



宙に浮いた材の玉切りは要注意。

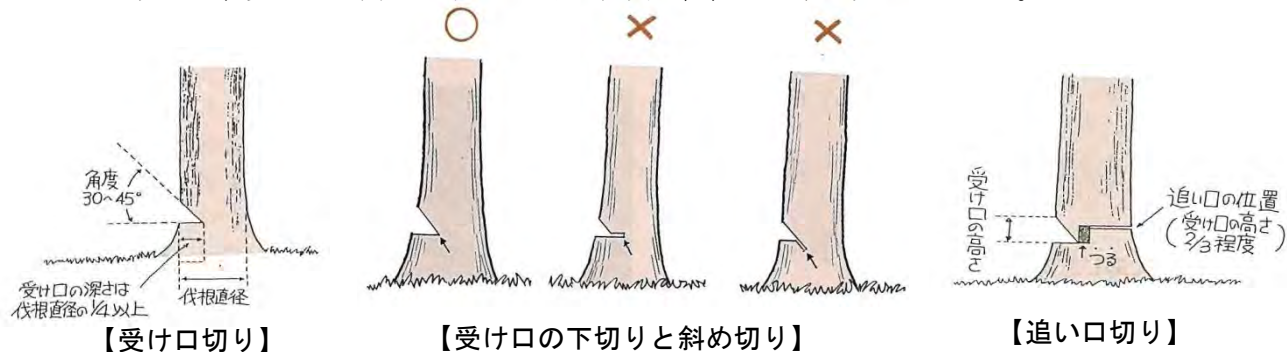
3 再確認！受け口切りと追い口切り。

●受け口切り

- (1) 受け口の下切りは水平に切り込み、深さは、根張りを除いた伐根直径の1/4以上とすること。ただし、大径木は、根張りを除いた伐根直径の1/3以上とすること。
- (2) 受け口が浅く、小さいと、わずかな接触や強風で伐倒方向がずれるおそれがあります。特に大径木の受け口切りは、斜め切りの角度が小さくなりがちです。やや大きめの受け口を作ること意識して、必要があれば切り直しをしましょう。
- (3) 受け口の斜め切りは、下切りに対して30～45度とすること。
- (4) 受け口の下切りと斜め切りは、終わりの部分を必ず一致させること。

●追い口切り

追い口切りは、受け口の高さの下から2/3程度の位置を水平に切り込むこと。



「伐木造材作業者必携より一部抜粋」

- ※ 適切な受け口作りと追い口作りは、目標とする伐倒方向に確実に倒すために重要な作業です。ノコギリでの切り込み作業は大変な労力が必要ですので、切り直りをしなくて済むように、確認をしながら丁寧に作りましょう。

4 ご参加、ありがとうございます。

今回の活動に、メタウォーター株式会社様から2名の方が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするこの活動が、環境貢献活動に積極的に取り組まれている企業、団体様などの参加により、ますます広がることを期待します。

ボランティアの会の皆さん、親切、丁寧なご指導ありがとうございました。



メタウォーター株式会社様。
(掲載許可済み)

5 注意して作業しましょう。

活動地内の道に、枝払い後の枝が散乱しており、歩きにくい状況となっていました。枝払い後の枝は道に残さないように注意しましょう。

また、玉切りなどの作業中に、ノコギリで土まで切ってしまう場合があるようです。ノコギリの歯に土が付くとすぐに切れなくなってしまうので、注意しましょう。



歩きやすい状態にキープ。

- ※ 6月9日（金）は、曇り時々晴れ、最高気温28度、降水確率40%となっています。

★それでは6月9日、気をつけてお越してください。